



大 空 (たいくう)

～「本気で」挑んだ夏・・・～

校 長 齋 藤 和 哉

夏休みが終わって、大きな事故等なく生徒とともにまた2学期を迎えられたこと、何よりうれしく思います。

一学期修了式では、生徒に対して本校野球部の先輩である吉田竜平さん(52回卒)が今年の同窓会報誌に寄稿された内容『好きな事に覚悟を』を取り上げて、目標達成のためには普段から“本気で”向かうことが大切であると伝えました。

振り返ってみると、5回目の出場を賭けて臨んだ野球の甲子園県予選、激戦を勝ち抜き2年ぶりに決勝へ勝ち進みました。鶴岡東高との決勝戦、残念ながら7-11で敗れましたが最後まで諦めず全力で戦い抜いた姿勢は立派でした。そして、プラスバンドや応援団、チアリーダーの指揮に合わせた精一杯の全校応援も見事でした。まさにグラウンドの選手とスタンドの応援が一体化し、本校の校訓である「友愛・自由・平等・団結」の精神を体現してくれたと思います。また、今年の南部九州インターハイでは、女子バスケットボール、ハンドボール、陸上競技、柔道女子、水泳、フェンシングの6競技に出場、ラグビーは長野県菅平で行われた7人制の全国大会に出場しました。その中で、陸上競技部が今年も活躍、日本一はなかったものの3年の高橋辰壽君が男子8種競技で見事3位入賞、また、3年の阪希望さんが女子400mHと100mHの2種目で6位入賞、女子リレー(4×100mR:岡田悠、阿部璃音、原怜奈、青野心音)でも8位入賞を果たしてくれました。

文化部では、吹奏楽部が7月末に行われた全日本吹奏楽コンクール県大会で今年も金賞を受賞、岩手県盛岡市で行われた東北大会でも見事金賞を獲得しました。佐賀県で行われた全国高文祭に出場した生物・化学部も研究の成果を立派に発表してきました。いずれも、県の代表として全国や東北の舞台で思いつき(本気で)戦ってくれたことに感謝します。一方、学習面でも夏季講習会をはじめ、3年生は8月の学習会や模試などもあり、生徒それぞれが自分の目標達成のために(本気で)取り組んだことと思います。いずれにしても、こうした本気の挑戦が大事であり、この夏の経験をぜひこれからの学校生活に生かして行ってほしいのです。

そこで、2学期の始業式では生徒に次のようなことを望むと伝えました。この夏の自分を振り返って見たとき満足できることもあるとは思いますが、やり切れなかったことや新たな課題も出てきたはずで。その課題を克服し、自分を更に高めるにはどうすればいいのか、具体的なプランを自分で考えてみる・・・。自分自身に内省を促し、考えることは、自分にとことん問いかけて自己分析し、具体的な対応策を導き出すこと。すなわち「自分との対話」です。そして再びチャレンジしてみる。若い生徒諸君にとって「向上は無限」です。大事なことは、最後まで諦めない、弱気にならない、目標をしっかりと見定めて“本気で”前に向かえば、必ずまた成長できる。自ら学ぶ意欲、自ら挑戦する構え、向かっていく姿勢をもたないと、目標は達成できない。何事も「させられている」うちは絶対に成長しない。自分で考え、判断し、行動していく・・・。「自己管理能力」が問われるわけです。

この長い2学期、大いに自分を磨き、高めていってください。1・2年生は一層の自立を目指し、3年生は部活動で再挑戦する者もいるでしょう。冬季競技はこれからが本番です。そして、学習・進路においては自分の志望達成に向けて十分準備しなければなりません。

“本気で”努力すれば、自分の目標を達成できる。「本気」は必ず「本物」になる。生徒一人一人の頑張りが、「躍進し輝き続ける山形中央高校」を創造していく・・・。

山形中央高生のさらなる飛躍を期待します。

◎この夏も健闘！中央高生！

前回の「大空」でご報告させていただきましたが、この夏は南部九州インターハイなど多くの部が全国大会に出場しました。特にインターハイでは、大雨や台風などの影響を受けた競技もあったようです。そのような中でも、山形県代表として今年も中央高生が大いに健闘してくれました。以下に各部の様子を報告してもらいました。

【陸上競技部】

「感動は無限大 南部九州総体 2019」

陸上競技大会は、11 種目 18 名の選手が参加し、8 月 4 日～8 日 8 日までの 5 日間沖縄市で開催された。1 日目、高橋辰壽が 8 種競技前半を 2 9 8 1 点の全体 2 位で折り返した。また、女子 4 × 1 0 0 MR（岡田・阿部・原・青野）は、予選 1 位の 46 秒 32 のシーズンベスト（SB）で通過した。

2 日目、岡田・阿部（璃）が出場した 1 0 0 M は、11 秒 97 の記録を出さないと予選通過もできないハイレベルな戦いで、阿部が 12 秒 08 で走ったものの 2 人とも予選敗退。4 × 1 0 0 MR 準決勝は、46 秒 19 で何とかプラスで拾われ決勝進出を果たした。高橋の 8 種競技、後半 1 種目目の 1 1 0 MH は、強い向かい風の中で全体的に記録を伸ばせず順位は変わらず 2 位。やり投で思うように記録を残せず 6 位後退。得意の走高跳で奮起し 1m89 の PB で総合順位を 4 位に上げたが、残る 1 5 0 0 M 次第では、順位は全く読めない状況。午後 8 時 15 分、高橋はグループ最後尾からスタートしたが、練習してきたとおりの展開となり、残り 1 周でペースを上げ 4 分 40 秒 32 の PB でゴール。総合得点 5 6 0 6 点の 3 位入賞であった。目標としていた優勝は逃したものの、8 種目中 PB と SB を 6 つ出すという大健闘であった。4 0 0 MH の阪は SB で予選通過。

3 日目、4 × 1 0 0 MR 決勝はコーナーがきつい 1 レーンスタート。バトンワークで浮上を狙ったが悔しさの残る 8 位入賞であった。しかし、3 年連続の決勝進出、入賞は立派であった。円盤投の寺崎は 40M81 の PB で予選通過したが、決勝 38M19 で 14 位であった。4 0 0 MH の阪は準決勝も PB で決勝進出。決勝は 5 台目までを 16 歩で攻める走り で 9 台目を超える時点で全体 2 位であったが、最後に抜かれ結果 6 位入賞。59 秒 48 は本人の PB であり、昨年ならば 3 位に相当するというハイレベルな中、ケガで 2 ケ月も走れなかったことを考えると、よくぞここまで頑張ったと言うべき見事なレースであった。

4 日目、男子 4 × 4 0 0 MR 予選が行われたが、メンバーの故障によりベストな走りができなかった。女子 8 0 0 M の後藤は、最後のレースと思い臨んだが予選通過はならなかった。

最終日は、台風 9 号の影響で風速 1 1 M 以上という豪雨の中行われた。1 0 0 MH の阪はアップする場所もうまく確保できない中であつたが、これまで練習してきたことを信じながら強い向かい風の中、安定した力で決勝に進出した。決勝は更に風が強くなり向かい風 4.1 の中行われた。結果は 6 位入賞でメダルには届かなかったが、一人でハードル 2 種目とも 6 位入賞というすばらしい活躍であった。今年に向けて 1 種目に絞ることも考えたが自分の可能性に挑戦した取り組みであった。後藤・青野・原・阿部で組んだ女子 4 × 4 0 0 MR は、前日予選を SB で通過したものの 2 年連続の決勝進出はならなかった。

今年のインターハイは東北大会が終わった時点で、出場ランキングで 8 位に入っている種目が全くなく、入賞ゼロもあり得る厳しい戦いが予想された。しかし、台風などの影響もありコンディションが悪い中でもコンスタントな力を発揮しパーソナルベストを出した選手が入賞という成績を残してくれた。自分たちの成長を示した沖縄インターハイだった。

（文責 顧問 佐藤孝夫）



【バスケットボール部(女子)】

女子バスケットボール部 鹿児島で躍動！

7月28日から鹿児島県で開催された「令和元年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会」に出場（2年ぶり3度目）しました。

1回戦の相手は、地元の鹿児島女子でした。終始一進一退の展開でしたが、声を掛け合いムードを高め、自分たちでこの難局を打開し、僅差のゲームを制しました。

2回戦は、北信越2位の強豪チーム鵬学園と対戦。スターティングメンバー全員が4～5cm身長が下回る状況の中、そのハンデを微塵も感じさせない気力溢れるプレーを見せ続け、会場を大いに沸かせましたが、7点差で涙をのみました。しかし、想像を超えた選手たちの頑張りは、見る人に大きな感動を与える素晴らしいものでした。沢山の応援、ありがとうございました。



【ハンドボール部】

ハンドボール部、開幕試合で躍動！

インターハイ競技は熊本県山鹿市（8／4）で行われました。春の選抜大会から連続での全国大会を達成したハンドボール部は、1回戦佐賀県代表の佐賀聖和学園高校と対戦しました。本大会のメインアリーナでの開幕試合ということもあり、選手の気合の入りようも十分な試合となりました。前半10－10の一進一退の攻防が繰り広げられ、勝負の後半を迎える形となりました。後半に入り、互いに攻撃的な展開を繰り広げましたが23－20で全国大会初勝利とはなりませんでした。春の選抜大会から成長を見せたチームに期待となりましたが、この大きな目標は来年までの課題となり新チームへの引継ぎとなりました。応援いただきました多くの方々に感謝し、今後も全国大会での勝利に向け成長していきます。応援ありがとうございました。



（文責 顧問 伊藤豊）

【柔道部】

柔道部 インターハイを終えて

私たち柔道部は、県高校総体で団体優勝、個人2階級で優勝し、鹿児島で開催されたインターハイに出場しました。大会本番では、山形県の代表として何とか勝ち進もうという意気込みで臨みましたが、全国の壁は私たちが思っている以上に高く、初戦の大阪府代表東大阪敬愛高校に敗れ初戦突破はなりませんでした。しかし、各自が全力で攻めることができ、実りのある試合だったと思います。今回、インターハイに出場できたことは、柔道面ではもちろん、生活面に対しての成長にも繋がりました。これまで支えてくださった皆さん本当にありがとうございました。

柔道部主将 馳尾 千夏

【ラグビー部】

第6回全国高校7人制ラグビー大会を終えて

7月19日～22日まで長野県上田市菅平高原で開催された第6回全国高校7人制ラグビー大会に出場しました。リーグ戦では2敗し、カップトーナメントへ出場しましたが、そこでも1回戦敗退となり、敗者トーナメントへと回りました。そこでは福島県代表の磐城高校と対戦、36対17で今大会初白星をあげました。その後の順位戦でも敗れ、最終順位はカップトーナメント14位という結果でした。全国との力の差を痛感する大会となりましたが、冬の全国大会でその差を少しでも縮められるように努力していきたいと思います。

（文責 顧問 佐藤大志）

ご声援ありがとうございました。これから秋の新人大会、全国選手権大会、冬季競技大会と続きます。今後も頑張る中央高生に応援をよろしくお願いいたします。